

「野口英世細菌検査室保存会」は平成30年8月、
「NPO 法人野口英世よこはま顕彰会」に改称
<http://noguchihideyo.web.fc2.com/>

●法人の目的とする事業

- (1) 野口英世ゆかりの細菌検査室の保存および野口英世博士の偉業顕彰事業
- (2) 次世代へ野口英世博士の偉業を伝え、科学する心を養う事業
- (3) 出版広報事業
- (4) 長浜検疫所一号停留所と収蔵資料の保存推進事業
- (5) 野口英世博士ゆかりの各地との交流事業
- (6) その他、この法人の目的達成に必要な事業

●細菌検査室と野口英世・長浜検疫所

- (1) 長浜検疫所(明治29年)は外航船舶に対し伝染症の侵入を防止するため検疫を行う施設です
- (2) 野口英世は明治32年、長浜検疫所の海港検疫医官補として採用されました
- (3) 検疫医官補として採用されてすぐに、折から入港した亜米利加丸の検疫に従事し、船倉で苦しんでいる船員から採血した血液を検疫所内の細菌検査室に持込み、顕微鏡検査でペスト菌を検出しました
- (4) この出来事が野口英世の名を一躍伝染病の医師等に知らしめることとなり、世界に飛躍するきっかけとなりました



野口英世が細菌検査に
 従事した細菌検査室

長浜野口記念公園内に明治の姿で現存。明治28年創建、大正12年震災、大正13年原型に復元、平成9年大規模補修



細菌検査室・1号停留所(検査資料館)・長浜ホールのマップ
 京浜急行能見台駅・シーサイドライン幸浦駅から徒歩約15分



海港検疫医官補の制服姿での野口英世(22歳)
 (公財)野口英世記念館所蔵



長浜ホール
 (旧事務所)

旧事務所は長浜検疫所内に明治28年創建、大正12年震災、大正13年新規設計で再建。昭和60年他の建物とともに解体。平成9年長浜ホールとして外観を中心に震災再建後の姿を現在地に復元



登録有形文化財 長浜検疫所一号停留所(検査資料館)
 長浜の検疫所敷地内に明治の姿で現存。明治28年創建、大正12年震災、大正13年原型に復元、平成30年国の登録有形文化財(建造物)に登録

《年会費》 一般会員：3,000円、学生会員：1,000円、賛助会員：5,000円(1口)以上
 《申込・問合せ先》 〒236-0057 横浜市金沢区能見台1-13-8 金間 誠一
 TEL 045-775-1612 Email kykn1138knm@gmail.com

切り取り線

入会申込書 年 月 日

住所	〒
氏名・年令	
電話・Fax	
Email	